れいわ新選組 新宿 さわいめぐみです。議員提出議案第13号 新宿区学校給食費の助成に関する条例について、賛成討論をいたします。

一刻も早くこの貧困と格差の状況に対応するために、この11月からの区立学校における給食無償化を求めます。子どもたちと、子育てに関する経済的な状況は深刻であり対策が急がれます。

子どもたちの貧困について、これまでも機会あるたびに訴えてまいりました。子育てにかかる負担を公費で賄い、子育ての社会化を進め、少しでも安心して子どもたちが暮らせる仕組みを整え、少子化対策に少しでも寄与すべきです。

私たちは食べたものでできています。これは、食事の持つ重要性を表しています。

経済状況が厳しくなれば食事の内容も貧しくなることが多い。給食無償化によって子どもたちの栄養状態も担保されることが期待できます。国際連合食糧農業機関、世界保健機関、ユニセフといった国際機関は「子どもには多様な食品を食べる経験をさせること、すなわち、食品多様性が重要である」と示しています。「子どもが食べようとしない」「養育者の好みではない」という食品でも、子どもが食べてみようかなと思う機会をつくる、多様な食品を食べる経験をさせてみることが、子どもの潜在的な可能性を高めるために重要であるということです。

区立学校の無償化はすでに提供している給食サービスに対するものであり、新たな制度設計も組織編成も必要ありません。すぐに対応ができるはずではないでしょうか。

以上の理由から員提出議案第13号 新宿区学校給食費の助成に関する条例について賛成討論といたします。

ありがとうございました。